

## 編集後記

ヒアリ (fire ant) がテレビのニュースで連日取り上げられています。港湾都市を中心に中国から侵入したヒアリが見つかっており、各地で営巣が確認されるのも時間の問題でしょう。先日、福井で開催された日本小児皮膚科学会で、兵庫医科大学の夏秋優先生が、講演の中でさっそくこの話題に触れられていました。ヒアリは口で咬むのに加えて、尻から毒針を出して刺すとのことで、この針毒が蜂毒と交叉反応があり、つまりハチ刺されでアナフィラキシーを生じるヒトはヒアリに刺されてもアナフィラキシーになるとのことで、危険な侵入者であることは間違いなさそうです。

さて、今回の特集は編集委員長の提案で、趣向を凝らしたテーマとなりました。皮膚が持つ重要な機能が乾燥、紫外線、微生物などの外敵に対するバリアであり、それが破綻したときに生じる疾患をまとめてみようということになりました。バリア障害といえはまずピンと来るのは、なんといってもアトピー性皮膚炎であり、本号でも貴重な症例を紹介していただきました。また、「治せないアトピー性皮膚炎とは」、という興味ある視点から現時点での治療の問題点を明らかにするという獨協医科大学越谷病院の片桐一元先生の論文も大いに参考になると思われます。皮膚バリア障害からの経皮感作も日常診療でときに経験するようになり、「茶のしずく」で始まった新しい潮流はこれからも持続していくと思われます。

編集委員会では、「バリア病」といった新しい名称を提案するのもよいのではないかとの意見もありましたが、いかがでしょうか。読者の皆様のご意見をうかがいたいと思いますので「声」の欄への投稿をお願いいたします。(T.A.)

## 次号予告

Vol.39, No.9

## 特集 顔の腫瘍(悪性腫瘍)

- ◆editorial 浅井 俊弥
- ◆topics リンフォーマの診断と治療 菅谷 誠
- ◆統計 弘前大学皮膚科における10年間の基底細胞癌の統計学的検討 黒川 景子, 金子 高英
- ◆治療 メラノーマ診療 加藤 潤史ほか
- ◆臨床例
  - 高齢者の顔面に生じたAFX 奥平 尚子ほか
  - 無色素性に右頬部に生じた斑状強皮症型基底細胞癌 原 みずきほか
  - 頬部アポクリン癌 山田 良則ほか
  - 前額部悪性黒色腫からの肺転移、脳転移がニボルマブ投与によって縮小した症例 若林祐次郎ほか
  - primary cutaneous myxoid spindle cell squamous cell carcinoma 山田 良則ほか
  - 生体腎移植後免疫抑制患者で、脂漏性角化症と連続して生じた基底細胞癌 森 章一郎ほか
  - イミキモドクリームによる日光角化症治療後に生じた有棘細胞癌の2症例 西尾 栄一ほか
  - 105歳女性の鼻翼に生じた有茎性悪性黒色腫 村上 遥子ほか
  - 化学療法と放射線療法の併用が奏効した顔面の巨大基底細胞癌 村田 美和ほか
  - 皮膚生検を契機に自然消褪した基底細胞癌 大塚 陽子ほか
  - 頬部の後天性真皮メラノサイトーシスに合併した悪性黒子 中條 聡美ほか
  - 顔面の脂漏性角化症の局面上に生じた有棘細胞癌 藤沼 千尋ほか
  - 皮膚粘液癌 奈古 利恵ほか
  - 顔面に生じたdesmoplastic malignant melanoma 鷲見真由子ほか
  - 顔面に生じたlymphangiosarcomaの1例 藤尾 由美
- ◆学会ハイライト アトピー性皮膚炎治療研究会第22回シンポジウムを終えて 加藤 則人
- ◆New Drugs コムクロ®シャンプー0.05%
- ◆私の歩んだ道 渡辺 晋一
- ◆皮心伝心 福山國太郎
- ◆蝶の博物詩 西山 茂夫
- ◆診察室の四季 齊藤 隆三
- ◆皮膚科のトリビア 浅井 俊弥
- ◆声(質疑・応答を歓迎します)

## 皮膚病診療 Vol. 39, No.8(2017)

平成29年7月25日印刷

平成29年8月1日発行

1部定価2,400円(本体)+税 送料82円

年々め予約購読料35,800円(本体)+税

発売所/丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 西岡 清

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒105-8320 東京都港区虎ノ門1-10-5 3階

電話:03-6838-9200(代) 03-6838-9225(編集)

振替口座:00190-0-36746

印刷所 株式会社 恒陽社印刷所

ご購読ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2017年

・JCOPY &lt;(社)出版者著作権管理機構 委託出版物&gt;

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。